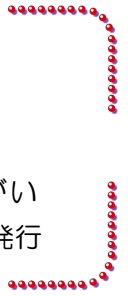




# 園 だ よ り 1 月 号

Y M C A 保育園ねがい  
2022 年 1 月 12 日発行



## 「 幼児期の運動遊び 」

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

先日雪が降り、少しかと思っていたら、お昼前から夕方まで降り続き、園庭や UR 広場が一面真っ白になりました。お迎えが来た時、子どもたちは雪が嬉しくて触ってみたり、足で踏みしめてみたりしながら帰っていきました。次の日は、雪で思いっきり遊んだことでしょう。園庭倉庫の壁が泥だらけになっていて、子どもたちが雪玉（泥玉）を投げていた様子が思い浮かびました。

今回は運動のことを書きたいと思います。幼児期には、児童期以降の運動発達の基盤となるできるだけ多様な運動パターンを経験しておくことが大切だそうです。それだけでなく、同じ運動パターンでのバリエーション（変化）によっても運動コントロール能力は培われると言われています。たとえば同じ歩くというパターンでも、いろんな方向や場所や手足の動かし方で（空間）、いろんな速さやリズムで（時間）、いろんなものを運ぶ（力量）など様々なバリエーションがあります。このように、様々な運動パターンを様々なバリエーションで経験することが、急激に発達する脳に豊富な神経回路を形成して、運動コントロール能力を発達させると考えられているのです。一生のうちで幼児期は、多種多様な運動パターンを経験することによって運動コントロール能力を向上させるのに最も適した敏感期なのです。子どもたちは誰かに教えられなくても、歩いたり、走ったり、投げたりを遊びの中で習得しているのです。

達成経験というと跳べなかった跳び箱が跳べるようになったと考えがちですが、達成経験の本質は、これまで自分が経験したことのない新しいことを経験し、自分の世界を広げていくこと。あんなことしてみたい、こうしたらどうなるだろうなど、現在持っている自分の能力を最大限に発揮して、新しいことに挑戦してやり遂げることこそが達成経験になるのです。このような達成経験は自分の頭で考え、工夫し、いろいろ試してみるといった遊びとしての運動の中に、たくさん含まれています。遊びの中では、一人ひとりの子どもが自分のやりたいことに挑戦するので、他者と上手下手を比較することは少なく、無力感を持つことはほとんどありません。また、周りの大人も上手下手や勝ち負けなどの結果ではなく、自分のやりたい運動に个性的にその子らしく一生懸命取り組む過程を認め励ますので、全ての子どもが有能感を持つことができます。その結果運動好きになり、高い自信を持って積極的に行動するようになります。そのことによって運動する機会が増え、運動能力が高くなるといった好循環が生まれると考えられます。

これからも私たちは、子どもたちが遊びの中で経験している運動を見守りながら、新しい経験ができるよう環境を整えていきたいと思います。

（園長 高橋 里香）



## ● 1月の行事予定 ●

- 4日(火) 保育開始
- 6日(木) 身体測定(全クラス)
- 10日(月) 成人の日
- 13日(木) 内科検診(0歳児)
- 25日(火) 園庭開放/ほっとするコーヒーやさん
- 26日(水) 礼拝
- 27日(木) 誕生会(幼児)
- 28日(金) 消火避難訓練

※28日不審者対応訓練を行います。

ハーブティーと麦茶もありますよ

今年度2回目の“ほっとするコーヒーやさん”を12月にやっと、再開することができました。お子様と一緒にたくさん保護者が立ち寄ってくださいました。保護者同士で気軽に話ができる場所、子育ての悩みを先輩お母さんに聞いてもらえる場所、私たち保育者もその中に入れていただき、皆さまからヒントをいただき、明日の保育にいかせたら・・・などなど様々な思いを分かち合える場所になれば、と願っています。またのご来店、お待ちしております！

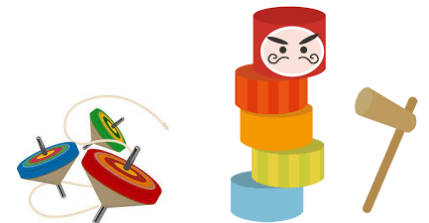


## お知らせ

2月の予定をお知らせいたします。ご予約ください。

- ・2月8日(火)～10日(木) 発表会(幼児クラスのみ) ※日常の保育の中で実施します。  
乳児クラスの子どもたちが日替わりで発表会を見に行きます。
- ・2月14日(月)～18日(金) クラス懇談会 ※各クラスの日程は以下の予定です。
  - 14日(月) 17時00分～ ひかり組(0歳)
  - 15日(火) 17時00分～ かぜ組(1歳)
  - 16日(水) 17時00分～ そら組(2歳)
  - 17日(木) 17時00分～ ほし組(3歳)
  - 18日(金) 17時00分～ つき・にじ組(4・5歳児)

詳細は、手紙にてお知らせします。



## ● 1月のクラス目標 ●

- 0歳)・保育者の温かな関わりのなかで、睡眠や食事を取り、心地よく過ごす。
- ・歩いたり、走ったりして盛んに身体を動かしながら、葉っぱや花などの自然に触れ、探索を楽しむ。
- 1歳)・靴や靴下を履く、帽子を被るといった戸外に出る準備を保育者と一緒にやってみようとする。
- ・絵の具や粘土といった様々な素材の感触を味わいながら、保育者や友だちと一緒に楽しむ。
- 2歳)・保育者に促されつつ、水の冷たさを感じながら、自ら手を洗おうとする。
- ・カエルやクマなど親しみのある生き物になり切ったり、追いかけてっこをしたりしながら、存分に身体を動かして遊ぶ。

- 3歳)・ごっこ遊びを通して、友だちとのやりとりやなりきることを楽しむ。
- ・順番や交代など、簡単なルールのある遊びを友だちと一緒に楽しむ。
- 4歳)・冬生活の仕方を知り、自ら健康に過ごそうとする。
- ・友だちと一緒に歌ったり、簡単なリズム楽器を使って、演奏する楽しさを味わう。
- 5歳)・休み期間中の出来事を話したり、友だちや保育者との再会を喜び、くつろいで共に過ごす。
- ・友だちや保育者と一緒に正月の伝統遊びをする中で、日本の伝統文化を知ったり、勝ち負けの楽しさを味わう。